

所属	看護学部／臨床看護学系	職名	助教	氏名	江上 史子
----	-------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

精神科看護の場における認知症高齢者の看護や、家族支援、リハビリテーション看護に関心があります。精神科における認知症ケアについては、これから取り組んでいきたい課題の一つです。認知症高齢者と家族の支援に関する研究では、相談活動を通して、対象が築いてきた人生や価値観に寄り添う関わりの重要性を実感しています。

老いや病に向き合うことは、本人にも援助者にも哀しみや苦しみを伴うことがあります。しかし同時に、人生の先輩としての豊かな人間性に触れ、教えられることや励まされることも多く、多様なライフスタイルのある現代の高齢社会において、人生の最後の時期である老年期を、その人らしい生活、尊厳ある人生を送るための支援に携わりたいと思っています。

2. 研究業績

①最近の著書

榎直美、吉田恭子、江上史子、福田和美、安酸史子、地域住民の主体的健康活動の質を高める支援に関する検討ー参加・共同型看護ゼミでの体験を通して得られた効果の検証ー、福岡県立大学看護学部紀要、8(2)、2011年

③過去の主要業績

- 平林美保、江上史子、梅垣順子、松岡千代、水谷信子、高齢者看護が担う痴呆症相談活動の課題と方向性-「高齢者もの忘れ看護相談」を通して-、兵庫県立看護大学 附置研究所推進センター研究報告集 Vol.1、p39-45、2003年3月
- 南裕子（主任研究者）、水谷信子（分担研究者）、松岡千代、平林美保、江上史子、梅垣順子（研究協力者）、「高齢者もの忘れ看護相談」の効果-継続的利用により介護家族に生じた変化について-平成17年3月厚生労働科学研究研究費補助金 医療技術評価総合研究事業、平成16年度総括・分担研究報告書 p31-51、2005年3月
- 江上史子、精神病院に勤務する看護師の認知症高齢者の持つ力へのアプローチ-認知症高齢者の表現する力に焦点をあてて-、兵庫県立大学大学院 修士論文、2007年3月

3. 外部研究資金

- 文部科学省科学研究費補助金（若手研究 B）「BPSD の顕著な認知症高齢者に対する精神科看護師の行動特性の有効性」、110万円、平成22年度、単独研究
- 看護系学会等社会保険連合平成22年度研究助成「小規模多機能型居宅介護における看取りに向けた専門職チームへの教育プログラムの検討」、75万円、平成22年度、共同研究（研究代表者：吉田恭子）

5. 所属学会

日本老年看護学会、日本災害看護学会、日本認知症ケア学会

6. 担当授業科目

老年看護論Ⅰ・2単位・2年・通年、老年看護論Ⅱ・1単位・3年・通年、老年看護実習・2単位・3年・通年、総合実習・3単位・4年・前期、専門看護学ゼミ・2単位・4年・前期

7. 社会貢献活動

- 老人クラブ・花満会で、学生とともにボランティア活動
- 高齢者関係地域活動（上伊田西地区獅子学保存会）、上伊田西地区、田川、2010年5月

8. 学外講義・講演

- 筑豊市民大学、共同、「救命救急法」、2010年9月
- 見立病院、共同、認知症高齢者看護研修会、2011年3月

9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員